

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 14 日現在

機関番号：32202

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2010～2012

課題番号：22406036

研究課題名（和文） 統合失調症患者の家族の認知行動様式に関する日韓比較共同研究

研究課題名（英文）

Cognitive behaviors among family caregivers with a schizophrenia patient: Comparison between Korea and Japan.

研究代表者 半澤 節子 (HANZAWA SETSUKO)

自治医科大学・看護学部・教授

研究者番号：50325677

研究成果の概要（和文）：

本研究では、統合失調症家族の介護に関連する心理的なストレス、とりわけ患者の暴言・暴力による心的ストレスについて韓国での評価を試みた。我々の研究成果により、調査時点で、患者と別居している場合でも、介護家族は患者によるかつて行われた暴力的な言動によって心的トラウマ体験がみられることが示唆された。また、こうした介護家族の心的トラウマ体験は、患者が長期的に治療を受けているにもかかわらず、患者の服薬アドヒアランスの問題、介護家族の深刻な介護負担感の継続といったこととの間に有意な関連がみられた。本研究の結果から、統合失調症を持つ人とその家族の長期的なケアについて、入院治療を経験した患者に対する地域を基盤としたサービスとして、服薬アドヒアランスの改善に向けた支援が必要であると考えられた。

研究成果の概要（英文）：

We carried out an investigation to measure psychological impact on caregivers traumatized by the violent behavior of a family member with schizophrenia in Korea. Our results from the present study are suggested that even when family caregivers live apart from the patient, they still experience the harmful psychological impact of trauma from the patient's violent behavior. The psychological impact continued as a result of the huge caregiver burden and the medication non-adherence of the family member with schizophrenia in spite of receiving long-term treatment and multiple hospitalizations. The present findings suggest the need for improved community-based service for preventive long-term care, including medication adherence, for outpatients with schizophrenia instead of multiple hospitalizations.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010 年度	3,800,000	1,140,000	4,940,000
2011 年度	2,000,000	600,000	2,600,000
2012 年度	3,000,000	900,000	3,900,000
年度			
年度			
総計	8,800,000	2,640,000	11,440,000

研究分野：医歯薬学 B

科研費の分科・細目：地域・老年看護学

キーワード：統合失調症、家族、認知行動様式、韓国、多文化比較

1. 研究開始当初の背景

日韓両国は儒教思想を維持しつつも社会文化的、制度政策的な要因に相違をみる。WHO が報告している精神保健に関するデータをみても、日韓両国には精神科医療施設の設置状況、精神科病院入院回数や入院日数などいくつかの相違点がみられる。しかし、精神障害者による入院の同意が得られない場合に、「医療保護入院」という入院形態がある点は日韓両国に共通しており、家族扶養についての伝統的な価値規範を基盤とした精神保健政策のひとつと考えられる。精神保健における両国の共通点や相違点について、統合失調症患者の介護家族の認知行動様式に着目し、多文化間で比較を試みた情報は乏しい。

2. 研究の目的

本研究はこのような背景と問題意識から、日韓両国を調査フィールドとし、統合失調症患者の介護家族の認知行動様式に関する情報を収集し、社会文化的・制度政策的情報との関連を検討しつつ、両国の特徴を踏まえた家族支援方を提案することを目的とした。

3. 研究の方法

本研究は平成 19-21 年度に行った我が国の統合失調症者の家族を対象とした介護経験に関する調査研究を踏まえて、同様の調査を韓国で実施し、日韓両国のデータを比較した。

4. 研究成果

これらの研究成果は学会などで報告するとともに、研究成果の一部の内容について、学術雑誌に論文を発表した。研究成果報告は日本語版と韓国語版を作成し、それぞれの家族会で報告会を予定している。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

- 1) Hanzawa S, Bae JK, Bae YJ, Chae MH, Tanaka H, Nakane H, Ohta Y, Zhao X, Iizuka H, Nakane Y : Psychological impact on caregivers traumatized by the violent behavior of a family member with schizophrenia. *Asian Journal of Psychiatry*, 6: 46-51, 2013.
- 2) Hanzawa S : Toward an effective family support system in Japan. *International Journal of mental health*, 41: 82-96, 2012.

[学会発表] (計 4 件)

- 1) Hanzawa S : Caregiver experiences of people with schizophrenia comparison Korea and Japan (Oral presentation), 15th Pacific Rim Congress of Psychiatry, 2012.10.27, Seoul, Korea.
- 2) Bae YJ, Tanaka H, Park JH, Hanzawa S, et al. : Caregiver burden of people with schizophrenia in Korea (Poster Presentation), 15th Pacific Rim Congress of Psychiatry, 2012.10.26, Seoul, Korea.
- 3) Bae YJ, Zhao X, Hanzawa S : Longitudinal psychological impact on family caregivers traumatized by schizophrenia patient's violence behavior (Oral presentation), 21st World Congress on Psychosomatic Medicine, 2011.8.25-28, Seoul, Korea.
- 4) Hanzawa S, Nishida A, Shiraishi H, Ito C, Nakane Y : Needs for crisis intervention among family caregivers with schizophrenia patients in Japan; Comparison between inpatients and outpatients (Oral presentation), 13th International Federation of Psychiatric Epidemiology, 2011.3.30 - 4.2, Kaohsiung, Taiwan.

[図書] (計 1 件)

- 1) Hanzawa S : Schizophrenia in the 21st Century (Edited by Burne THJ), Family Caregivers of people with schizophrenia in East Asian countries. In Tech, Croatia, ISMN: 978-953-51-0315-8.

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称 :
発明者 :
権利者 :
種類 :
番号 :
出願年月日 :
国内外の別 :

○取得状況 (計 0 件)

名称 :

発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

半澤 節子
自治医科大学（教授）
研究者番号：50325677

(2) 研究分担者

田中 英樹
早稲田大学（教授）
研究者番号：10315179

ベイ・ヨンジュン
長崎ウエスレヤン大学（准教授）
研究者番号：90396242

趙香花
独立行政法人国立精神・神経医療研究センター（研究員）
研究者番号：50613759

田中悟郎
長崎大学（教授）
研究者番号：00253691

(3) 連携研究者

中根允文
長崎大学（名誉教授）
研究者番号：80039833

太田保之
西九州大学（教授）
研究者番号：50108304